

政府の新情報通信技術戦略

谷脇 康彦 ●内閣官房情報セキュリティセンター副センター長 内閣官房内閣審議官

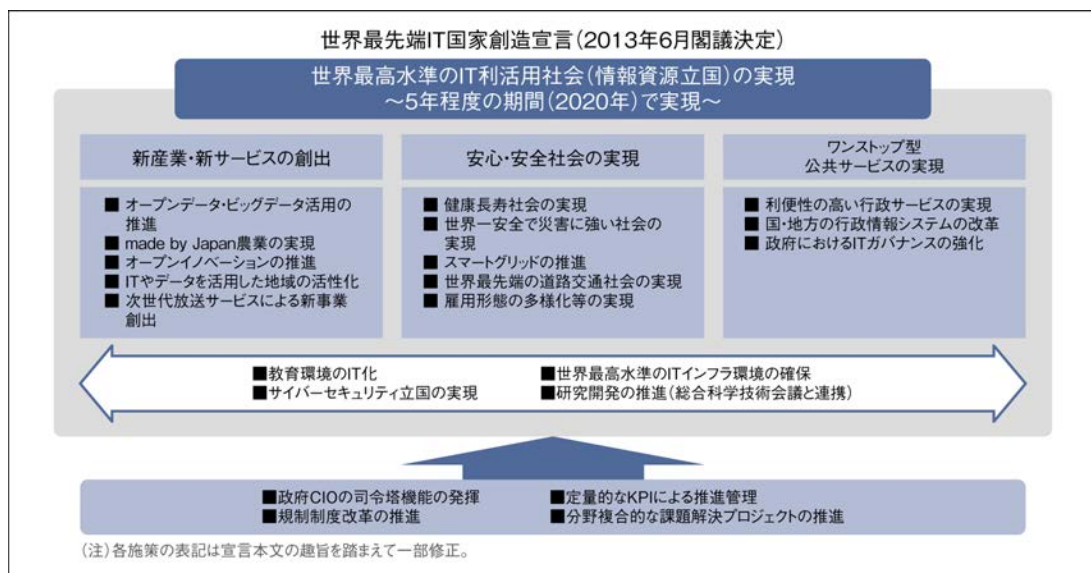
5年以内に世界最高水準のIT利活用を実現、「情報資源立国」目指す。農業の知識産業化、健康長寿や災害対策、行政情報システム改革などを推進する。

■情報資源立国の実現

2013年6月、「世界最先端IT国家創造宣言」と題された新しい情報通信技術（IT）戦略が閣議決定された。2001年1月に初めて策定された「e-Japan戦略」以降、わが国のIT戦略はブロードバンド基盤（インフラ）の整備から、次第にIT

の利活用へと力点を移してきた。今回の戦略は今後5年間で世界最高水準のIT利活用社会を目指すことを目標として掲げており、ICT利活用の推進という基本ラインに変更はない。しかし、大きな変更点もある。

資料 5-2-1 世界最先端IT国家創造宣言（2013年6月閣議決定）の骨格



出典：「世界最先端IT国家創造宣言」（2013年6月閣議決定）を元に執筆者が作成

それは「ヒト」、「モノ」、「カネ」と並んで「情報資源」が新たな経営資源となり、経済成長をもたらす鍵であると位置付けたことにある。つまり、ICTを導入すること自体を目的化するのではなく、分野・領域を越えた情報資源の収集・蓄積・融合・解析・活用によって新たなイノベーションを巻き起こす「情報資源立国」を目指すという姿勢は、過去のIT戦略には見られない大きな特徴となっている。

■オープンデータ戦略の推進

今回の戦略は、①新産業・新サービスの創出、②安心・安全社会の実現、③ワンストップ型公共サービスの実現という3本の柱で構成されている（資料5-2-1参照）。とりわけ①についてはオープンデータやビッグデータの活用に力点が置かれている。

オープンデータ戦略の推進については2015年度末に他のオープンデータ先進国と同水準のデータ公開を実現することを目標として、各府省のオープンデータをワンストップで参照・利用できるデータポータルを試行版を2013年度中に立ち上げ、広く国民のフィードバックを得ながら2014年度から本格稼働することとしている。折しも本年6月に英国ロンドン・アーンで開催されたG8サミットにおいて「オープンデータ憲章」が採択されるなど、国際的にもオープンデータ推進の方向が具体化する中、日本としての取り組みを加速化する必要がある。

新産業・新サービスの創出という観点からは、AI（アグリインフォマティクス）農業の実現が盛り込まれた。農業従事者の平均年齢は66歳となり、高齢化が進んでいる。そこで、センサー技術などを活用して、高い生産技術を持つ篤農家の知恵をデジタル化する。デジタル化された知恵は多数の経営体で共有・活用し、農業の知識産業

化を進めることとしている。さらに、ビッグデータの活用の重要な柱の一つとなるのがパーソナルデータの活用である。パーソナルデータの活用に関しては、データ活用による新産業の創出とプライバシーの確保という2つの項目についてバランスが求められる。また、欧米でもパーソナルデータの扱いについてはさまざまな議論が行われている。データの越境流通が日常茶飯事となっている今、新たな枠組みは国際的に見て整合性のとれたものであることも求められる。

今回の戦略に基づき、本年6月に公表された総務省「パーソナルデータの利用・流通に関する研究会」報告書等を踏まえつつ、政府は匿名化技術の活用指針を含む個人情報保護ガイドラインの見直し、データ活用に関する本人の同意取得手続きの標準化等の取り組みを進めている。同時に、新たな第三者機関の設置を含む個人情報保護法の改正に向けた制度見直し方針（ロードマップを含む）を年内に策定する。このため、IT総合戦略本部の下に「パーソナルデータに関する検討会」が設置され、検討が進んでいる。

■健康長寿社会の実現

今回の戦略と同日に閣議決定された政府全体の成長戦略には4つの戦略市場創造プランが盛り込まれている。戦略市場創造プランとは、各国が直面する社会的課題のうち、その解決にわが国が強みを持ち、グローバルな市場展開が期待される分野を戦略的に育てようというものであり、その一つに「国民の健康寿命の延伸」が挙げられている。この課題を解決する観点から、今回の戦略では医療・介護システムの連携医療ネットワークシステムの全国展開を2018年度までに実現することとしている。

また、企業等が検診データなどから健康状況を把握・分析、健康指導を行う取り組みなどを2016

年度末までに確立する。これに関連して、成長戦略ではヘルスケアポイントを活用した健康作りモデルの確立に向けた大規模実証を来年度より実施することが盛り込まれた。

■耐災害性の強い社会の実現

安心・安全社会の実現という観点からは、東日本大震災の教訓を踏まえ、耐災害性の強い社会の実現も大きな課題として戦略の中で位置づけられている。具体的には、2015年度までに、通信・放送・自治体網を含む多様なメディアを活用した重層的な情報収集・伝達体制を構築する他、地理空間情報を活用した避難誘導や消火活動について2016年度までに導入を検証し、2020年度までには実現することとしている。

■行政情報システム改革

今回の戦略の決定に先立ち、国会においてはマイナンバー法案と政府CIO法案が可決・成立した。これにより、2016年から社会保障・税の分野でマイナンバーを活用した電子行政サービスが開始される。行政サービスの質の向上や行政事務の効率化が期待されるマイナンバー制度だが、その実現には国・地方自治体を含む行政情報システムの大幅な見直しが必要となる。そして、その司令塔となるのが、今回のCIO法案で法的権限を与えられた政府CIO（内閣情報通信政策監）である。政府CIOは府省横断的なプロジェクトの推進、ICT投資管理、システム調達に関する指針の整備など、府省の枠を越えたICT政策の推進という役割を担っている。

今回の戦略では、政府CIOの下で本年中に政府情報システム改革に関するロードマップを策定することとされ、2018年度までに現在1,500の情報システムを半減し、政府共通プラットフォームへの移行を進めるとともに、2021年度までに

原則すべての政府情報システムのクラウド化（日本版「クラウドファースト」政策）を実現し、運用コストの3割減を目指すこととされた。政府の情報システムの運用経費は現在約5千億円であり、この取り組みは相当規模の行政コストの削減に貢献する。自治体クラウドについてもマイナンバー制度導入までの今後4年間で集中取り組み期間と位置付けている。また、行政情報システムの調達に際して、ベンダーロックインを回避するためのオープンソースソフトウェアの活用や標準化・共通化を推進する。

さらに、政府のIT投資のガバナンス強化の観点から、2014年度予算から政府情報システムに関する投資計画を策定する。くわえて、各府省の投資計画の進捗状況を管理し、その結果をネット上で公開する日本版「ITダッシュボード」（米国ではオバマ政権で開始）を2014年度から運用開始する。

■計画から実行へ

計画を実行していくためには、定量的な指標の設定が重要である。このため、今回の戦略ではKPI（重要業績評価指標）を設定・管理することとしている他、世界最高水準のIT利活用社会を目指すという目標に照らし、新たにグローバルインデックスを設定し、世界の中で日本がどのような進捗状況にあるかを測定・管理する。

規制制度改革も重要な柱の一つである。今回の戦略では対面・書面交付が前提とされているサービスや手続きを含め、IT利活用の裾野を拡大する観点から、「規制制度改革集中アクションプラン」を年内に策定するとともに、規制改革会議と連携しつつ、IT利活用推進のための基本法の制定の必要性についても検討していくこととしている。（文中、意見にわたる部分は筆者の個人的見解である）



[インターネット白書ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2014年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp